

ESD

問合せ 経営企画課政策推進係

新聞やテレビで聞いたことがあるかもしれませんが、なじみのない言葉です。しかし、私たちの将来にとって、とても大切な考え方です。



ESD (Education for Sustainable Development) は「持続可能な開発のための教育」という意味です。持続可能な開発とは、大人も子どもも、そのまた次の世代も、皆さんがずっと安心して暮らしていける社会をつくることです。

今までは経済開発が優先されてきたことにより、地球環境、貧困、人権、平和、食料など解決することの難しいさまざまな問題が生じてきました。

これからは私たちのことだけでなく、未来の世代のことを大切に思い、資源を使い尽くしたり、環境を壊したりしないで、安心して幸せに暮らせるように取り組むことが求められています。ESDは、そのための学びあい、人づくりの取り組みです。

身近なことから始めるESD

市民の皆さん一人ひとりができることをできる範囲で続けていくことがESDにつながります。

- ・食べ物を残さず食べる
- ・余分な電気を使わず、省エネを心がける
- ・リサイクルやごみの分別に組み、ごみを減らす
- ・地域活動や防災訓練などに参加する
- ・さまざまなボランティアに参加する



11月に世界会議が名古屋で開催されます

●ESDに関するユネスコ世界会議

とき 11月10日(月)～13日(木)

ところ 名古屋国際会議場

※詳細は、ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会ホームページをご覧ください。

市では地域に根ざした取り組みをしています

市は第5次碧南市総合計画などに基づき、環境保全と経済・社会の発展のバランスのとれた持続可能なまちづくりを目指し、ESDに関連するさまざまな取り組みを行っています。代表的な取り組みを紹介します。

海浜水族館・青少年海の科学館での取り組み

開館以来30年以上にわたり、小学生の水族館学習を続けており、一般向けには自然観察会を開催しています。こうした活動を通して、自然環境について考える機会を設け、次世代の担い手を育てる支援をしています。



△小学6年生対象の水
族館学習「コイの解
剖」



△自然観察会「海の生き
もの魚っちんぐ！」

碧南にんじんを使った食育の取り組み

碧南人参の日(1月23日)に、保育園・幼稚園、小中学校でニンジンを使った給食が出されます。地元の新鮮で安全な農水産物に目を向け、食に対する感謝の気持ちや地元の食文化を次世代へつなげていくことの大切さを伝えています。



△へきなん美人を使った
おやつづくり教室

HEXPO STAFFの活動

今年で創設30年目を迎える青年団体で、自ら企画運営する成人式は高い評価を受けています。若者がまちづくりに参加する機会を増やし、明日への市の担い手づくりにつなげていきます。



△手作りの成人式

環境リーダー養成プロジェクト

第2次碧南市環境基本計画を推進するための環境リーダー養成講座を開催し、自らが主体となってリーディングプロジェクト、市民活動およびボランティア活動を推進できる人材を育成します。



△森の見学会